

三豊市待機児童ゼロ対策アクションプラン

三豊市健康福祉部保育幼稚園課

三豊市では、平成 29 年 10 月 1 日現在の保育所等の待機児童数が 38 名となり、翌平成 30 年 10 月 1 日現在では 37 名と、2 年連続で待機児童が発生したことから、緊急課題として、待機児童解消を目指すこととし、次のとおり今後 3 年間のアクションプランを策定し、待機児童ゼロ対策に取り組むこととします。

なお、本市の就学前児童のうち、保育施設申込児童数（利用者数＋保留者数）の割合である「申込率」の推移は、平成 26 年度以降毎年 2～3 ポイント上昇しています。また、1 歳児の 4 月 1 日現在の入所児童は、合併時と比較して 98 人増、入所率は 32.5%から 60.7%と倍増しており、近年、低年齢児の保育需要が急増しています。

本市でも今後、申込児童数が増加していくことを見込み、3 年後の平成 33 年度末の「申込率」を 52%（1 年あたり約 2 ポイントの増加）と試算し、約 160 人分の受入枠拡大を図ってまいります。

1. 緊急対策の 3 つの方針

- 市有地の活用や既存保育施設（民間施設を含む）の増改築・分園等、重層的に対策を実施する。
- 公立幼稚園での 3 歳児保育の実施等、保育受け入れ枠を拡大する。
- 保育人材確保に向け、保育の職場環境の向上及び処遇改善を図るとともに、公立正規職員（保育士・幼稚園教諭）の採用枠を拡大し、保育需要に対応する人的体制を確保する。

2. 保育の受入枠の拡大

平成 31 年度～

- 保育士採用の拡大及び幼稚園の 3 歳児預かり保育の実施 【約 30 人】
- 保育事業者への市単独補助金の新設等、保育施設開設支援の実施

平成 32 年度～

- 公共用地活用型民間保育施設（認可保育施設）の開設 【約 60 人】
- 山本幼稚園（幼稚園型認定こども園）開園及び新山本保育所開所 【約 40 人】

平成 33 年度～

- 民間小規模保育事業所等の開設 【約 30 人】

3. 保育人材の緊急確保

- 臨時職員保育士の処遇改善を実施
 - ①平成 31 年度月額賃金の改定
 - ②平成 32 年度会計年度任用職員制度開始に合わせた処遇改善
- 就職支援交付金の新設等、保育士確保策の実施
- 保育 ICT の導入等、魅力ある保育の職場環境の構築を図る。

資料 1 (三豊市待機児童ゼロ対策アクションプラン)

○保育所等の申込者数の推移及び予測

	就学前児童数 (A)			申込児童数 (B)			申込率
		前年増減数	前年比		前年増減数	前年比	B/A
平成25年度	2,950			1,023			34.68%
平成26年度	2,963	13	0.44%	1,092	69	6.74%	36.85%
平成27年度	2,916	△ 47	-1.59%	1,108	16	1.47%	38.00%
平成28年度	2,879	△ 37	-1.27%	1,152	44	3.97%	40.01%
平成29年度	2,842	△ 37	-1.29%	1,231	79	6.86%	43.31%
平成30年度	2,763	△ 79	-2.78%	1,285	54	4.39%	46.51%
平成31年度	2,715	△ 48	-1.74%	1,316	31	2.41%	48.50%
平成32年度	2,668	△ 47	-1.74%	1,347	31	2.36%	50.50%
平成33年度	2,622	△ 46	-1.73%	1,376	29	2.15%	52.50%
平成40年度	2,320	△ 302	-11.51%	1,357	△ 19	-1.38%	58.50%

※ 平成 30 年度以降の申込児童数、平成 31 年度以降の児童数は予測値となります。

※ 児童数予測値については、直近 4 年間の平均伸び率から算出しています。

※ 就学前児童数は各年度とも 4 月 1 日現在としています。

※ 申込率については、直近 4 年間の平均伸び率から算出しています。

※ 10 年後（平成 40 年度）の申込率については、前期 5 年間で 2% 毎増加、後期 2 年間で 1% 毎増加、残りの 3 年間で横這いとして推計しています。

○受入枠の拡大数

平成 33 年度の申込者数（見込） 1,363 人（2,622 人×52%）

平成 30 年 10 月時点の入所児童数 △1,200 人

3 年間で必要な受入数 163 人 ≒ 160 人

※10 年後、平成 40 年度においても 1,360 人程度の受入枠が必要である。